

高等学校学習指導要領における「歴史総合（仮称）」の改訂の方向性①（案）

特
徴
の
目
的

○世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉えて、近現代の歴史を理解する科目

○歴史の推移や変化を踏まえ、課題の解決を視野に入れて、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を考察する科目

○歴史の大きな転換に着目し、単元の基軸となる問いを設け、資料を活用しながら、歴史の学び方を習得する科目

平成28年5月18日 教育課程部会
高等学校の地歴・公民科目の
在り方に関する特別チーム
資料9-1

グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者を育成するために

現代的な諸課題につながる歴史的な状況(例)

<a自由と制限><b富裕と貧困><c対立と協調>
<d統合と分化><e開発と保全> など

学習内容
の
焦点化

●歴史の扉～歴史をなぜ学ぶか、どう学ぶか～(例:近世の日本・アジアを事例に)

・18世紀後半～現在

・産業社会と国民国家を形成する方向に社会が変化した。

●近代化と私たち～近代化は何をもたらしたか？

【単元】

○産業社会の到来、政治の変革
○日本の改革、アジア・アフリカの変容など
(まとめ)近代化と私たち

【考察を深める問い】(例)a, bなどを中心として

・工業化と政治変革は何をもたらしたか
・日本、アジア・アフリカはどのように変化したか
(まとめ)社会の近代化は何をもたらしたか など

・19世紀後半～現在

・大衆が社会全体の在り方を規定するようになりはじめた。

●大衆化と私たち～大衆化は何をもたらしたか？

【単元】

○大衆社会の形成、政治と世論
○国際紛争と国際協調 など
(まとめ)大衆化と私たち

【考察を深める問い】(例)a～cなどを中心として

・なぜ政治参加と文化活動が拡大したか
・なぜ世界大戦・冷戦がおこったのか
(まとめ)社会の大衆化は何をもたらしたか など

・20世紀後半～現在

・人・モノ・カネ・情報等が国境を越えて一層流動するようになった。

●グローバル化と私たち～グローバル化は何をもたらすか？

【単元】

○多極化と地域統合
○地域紛争と国際秩序 など
・(総括)グローバル化と私たち
～持続可能な社会への展望

【考察を深める問い】(例)a～eのいくつかから

・冷戦構造の変化は何をもたらしたか
・冷戦終結後も、なぜ地域紛争は続くのか
・日本は世界の動向にどのように関わってきたか
(総括)国際社会のグローバル化は新たに何をもたらしたか、あなたはどんな日本/世界を求めるか など

取り上げることが考えられる題材

産業/市民革命、近代科学、立憲政治、資本/社会主義、明治維新、国民国家、国民文化、政党政治、ジャポニズム、消費社会、マスコミ、移民、帝国主義、総力戦、植民地、大正デモクラシー、国際協調、世界/昭和恐慌、ファシズム、冷戦、地域紛争、地域統合、民族主義、難民、高度経済成長、多国籍企業、市場経済、ポップカルチャー…など

歴史の学び方(例)

○社会的事象等の歴史的な見方や考え方をういて学ぶ方法(例)

・時期、推移や変化に着目して、

・比較して相違や共通性などを明確にし、
・因果など事象相互の関連性に留意して、

⇒事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察するなど

* 考察を深める問いについては、取り上げる時期を広げて設定したり、多様な地域を視野に入れて設定することが考えられる。

* 各単元の導入において、「現代的な諸課題につながる歴史的な状況」を踏まえた単元の全体構想を示すことが考えられる。

高等学校学習指導要領における「歴史総合（仮称）」の改訂の方向性②（案）

平成28年5月18日 教育課程部会
高等学校の地歴・公民科科目の
在り方に関する特別チーム
資料9-2

現行歴史系A科目

資質・能力

新必修修科目「歴史総合（仮称）」

社会的事象等の歴史的な見方や考え方をを用いて右の資質・能力を育む

世界史A

- 1 世界史へのいざない
- 2 世界の一体化と日本
- 3 地球社会と日本

関連付け

日本史A

- 1 私たちの時代と歴史
- 2 近代の日本と世界
- 3 現代の日本と世界

〔参考〕

○世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史の理解

○諸資料から情報を効果的に収集する・読み取る・まとめる技能

○諸事象等の意味や意義、特色

世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉えて、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を考察する科目

や相互の関連について、概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、現代的な課題を把握し、その解決に向けて構想したりする力

○現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史について主体的にわかろうとしたり、持続可能な社会を視野に入れて、世界や日本の在り方について意欲的に追究しようとする態度 など

○ 歴史の扉

中学校社会科の学習を振り返りながら、例えば近世の日本・アジアを取り上げ、歴史を学ぶ意義や歴史の学び方について考察する

○ 近代化と私たち

産業社会と国民国家の形成を背景とした人々の生活や国際関係の変化を扱い、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史の諸事象について考察する

○ 大衆化と私たち

大衆社会の形成を背景とした人々の生活や社会の在り方の変化を扱い、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史の諸事象について考察する

○ グローバル化と私たち

グローバル化する国際社会を背景とした人々の生活や社会の在り方、国際関係の変化を扱い、現代社会を理解し、持続可能な社会の在り方を展望する

現代的な諸課題につながる歴史的な状況(例)

「自由と制限」
「富裕と貧困」

「対立と協調」

「統合と分化」
「開発と保全」
など

取り上げることが考えられる題材

産業/市民革命、近代科学、立憲政治、資本/社会主義、明治維新、政党政治、国民国家、国民文化、ジャポニズム、消費社会、マスコミ、移民、帝国主義、総力戦、植民地、大正デモクラシー、国際協調、世界/昭和恐慌、ファシズム、冷戦、地域紛争、地域統合、民族主義、難民、高度経済成長、多国籍企業、市場経済、ポップカルチャー…など

- ・現行中学校社会科の歴史的分野の学習では、我が国の歴史の大きな流れの理解をねらいとしている。(各時代の特色を捉える学習他)
- ・歴史の大きな転換に着目し、単元の基軸となる問いを設け、資料を活用しながら、歴史の学び方を習得する。
- ・考察を深める問いについては、取り上げる時期を広げて設定したり、多様な地域を視野に入れて設定することが考えられる。